

会議記録

名 称	令和3年度 第2回 中央区子ども・子育て会議	
開催年月日・場所	令和3年12月13日（月） 午後6時30分から 中央区役所8階 大会議室	
出席者	委員	大竹智（会長）、新藤こずえ（職務代理者）、渡邊浩志、田中翼、大江恵子、高梨明美、松浦綾子、竹谷直史、小野内雄三、伊藤さとみ、白井真紀、吉田昌平、徳堂康彦、太田明実、濱川浩子、箱守由紀、田中智彦、渡瀬博俊、生島憲
	区側出席者	福祉保健部子育て支援課長 福祉保健部保育課長 福祉保健部副参事（保育指導・特命担当） 福祉保健部子ども家庭支援センター所長 教育委員会事務局庶務課長 教育委員会事務局学務課長 教育委員会事務局指導室幼児教育担当専門幹
配布資料	資料1-1 主な事業の量の見込みと確保方策（令和2年度分） 資料1-2 個別事業（令和2年度分） 資料2 確認対象施設の利用定員一覧 資料3-1 令和4年4月認可保育園等入園申込状況 資料3-2 区立幼稚園児の応募状況について	
議事の概要	1 開 会 2 議 題 （1）第二期中央区子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の管理について ・主な事業の量の見込みと確保方策の進捗状況管理（令和2年度分） ・個別事業の進捗状況管理（令和2年度分） （2）子ども・子育て支援法に基づく意見聴取 ・令和4年4月開設予定の認可保育所の利用定員について （3）報告事項 ・令和4年4月認可保育所等入園申込状況及び区立幼稚園児の応募状況について 3 閉 会	

令和3年度第2回中央区子ども・子育て会議 会議録（要旨）

令和3年12月13日（月）

午後6時30分から

中央区役所8階 大会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 第二期中央区子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の管理について 事務局から資料1-1、1-2について説明が行われた。	
委員	今年度から学童クラブの定員が定員制から登録制に変わったが、利用率について伺いたい。また、プレディはどのくらい利用されたのか。
子ども家庭支援センター所長	令和3年度のこれまでの学童クラブの平均利用率は、比較的利用が多かった夏休み前まででも約78%であり、当初見込んでいた8割未満となっている。
庶務課長	プレディについて、令和2年度は学校が4月以降休校になり、その後、分散登校や夏季休業の短縮といったさまざまな事情があり、誰でも利用できる状況にはなっていなかった。医療関係者や警察・消防など、どうしても家庭の状況で面倒を見ることができない子どもを預かるといった、セーフティネットとして機能させた。 利用率という明確な数字はないが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、密を避けるという観点から利用の制限をしていたため、時期的なものもあるが、少ないところでは1桁、多いところでも40名程度であり、利用人数は大幅に減少した。
委員	子どもが小学1年生になると、緊急時に預ける場所がない。プレディに問い合わせたが、どの制度を利用すればいいかわからなかった。
子ども家庭支援センター所長	小学生の子どもを預かる場所として、午後5時から午後10時までの時間で利用できるトワイライトステイや社会福祉協議会に委託して実施しているファミリー・サポート・センターがあり、区としてこのような預かり先をご案内している。
庶務課長	プレディにおいては、職員研修等を通じて、現場の職員が教育委員会だけでなく、福祉のサービスについても適切なご案内ができるよう今後も努めていく。
会長	区民の方々が緊急時に、まずは子ども家庭支援センターに相談する、ということが周知徹底されるといい。
委員	利用者としては、いい制度はたくさんあるが、利用対象年齢や診断書が必要であるなど、使い勝手がよくないし、何を利用すればいいかわからない。
委員	ファミリー・サポート・センターにつながっていれば預かれたので、もう少し周知が行き届くといい。
委員	子どもや子育てに関して、誰に聞いたらいいかわからない。区としてどういう考えを持っているのか。
委員	区としては、小学生も預けられる事業があり、紹介することもできる。ただ、その情報が区民に正しく伝わっていなかったと思う。

子ども家庭支援センター所長	<p>子ども家庭支援センターでは、18歳未満の子どもに関する相談に対応しており、専門の相談員も配置している。また、各児童館と連携しているため、児童館から子ども家庭支援センターへつなげることもできる。</p> <p>周知としては、リーフレットを作成し、児童館などの身近な施設に設置するとともに、区のホームページや区広報紙に掲載している。周知が行き届いていない部分については、引き続き周知徹底に努めていきたい。</p>
委員	<p>高齢者であれば、何かあったらおとしより相談センターに相談するというように、子どもや子育てに関しても困ったことがあれば子ども家庭支援センターに相談するという流れができるとうまく回っていくと感じた。</p>
会長	<p>地域には主任児童委員や民生・児童委員がいるので、そちらに相談しても、つながっていくこともある。</p> <p>区には、周知を含めて今後対応してもらい、中央区には子ども家庭支援センターがあって、困ったら相談するということを区民レベルでも情報を共有していくといいと思った。</p>
委員	<p>区民が子ども家庭支援センターを認識し、直接相談するのではなく、区のどこかに相談したら、子ども家庭支援センターにつながるようにしてほしい。</p>
会長	<p>先ほど事務局から説明があったが、研修等を積み上げていき、相談があった際は、適切な福祉サービスにつなげられるよう、今後取り組んでいただきたい。</p>
委員	<p>資料1-1の6ページ「7今後の方向性」の保育所申込等に関する相談体制で、チャットボットを導入したとあるが、利用状況などはどうだったか。また、子どもや子育てに関する相談においてもチャットボットを導入できないのか。</p>
保育課長	<p>保育園の入園について、問い合わせが多い内容や率直な疑問を自由な時間に確認できるようにするため、保育入園の仕組みとしてチャットボットの導入をした。申込の仕方や書類の書き方等の基本的なことをベースに、質問をつないでいき、最終的に答えを出したり、詳細を記載している区ホームページにつないだりするような仕組みとなっている。</p> <p>区全体となると、広範囲にわたるので、活用していくかは今後検討して必要がある。</p> <p>利用状況について、導入直後は1日で約120件くらいの利用があったが、保育園の入園手続きが始まると利用件数が少なくなった。</p>
委員（区）	<p>変化があまりないものについて、チャットボットの活用は有効であるが、子育て関係は制度が変わることが多いので難しい部分がある。今後もチャットボットの活用について検討していく。</p>
委員	<p>プレディや学童クラブの区ホームページに外部サイトリンクへアクセスする箇所があるが、「ちゅうおうナビ」という地図につながり、所在地がわかるだけで、事業等の内容がわからないので不便だと思う。もっと使いやすい方法にすることはできないのか。</p>
子育て支援課長	<p>現在、区ホームページをリニューアルする検討がされており、所管する広報課と情報を共有しながら、改善できるものは改善していきたい。</p>
<p>(2) 子ども・子育て支援法に基づく意見聴取 事務局から資料2について説明が行われた。</p>	

委員	0歳児の待機児童が多いと思うが、0歳児の利用定員がゼロである理由を聞きたい。
保育課長	例年の待機児童の状況から、1歳児の待機児童が最も多いため、0歳児の定員設定を設けていない。今年の4月の状況でも、0歳児等の定員の空き状況が見られるため、最も待機児童の多い1歳児から定員設定をしている。 また、今後、乳幼児人口の動向が変わることも想定されるので、今後の各地域の利用人口、保育ニーズの状況を見て、柔軟に対応していく。
委員	保育園の設計の際に、1つのロッカーを2人で使用したり、ロッカーにコートをかけるスペースを設けなかったりすることはあるのか。
保育課長	各居室については、子ども一人あたりの面積は法令で決められているが、ロッカーなどは含まれず、各事業者で必要な保育面積を取っている。ロッカーについて、1つのロッカーを2人で使用するなどの決まりは設けていない。
委員（区）	ロッカーの大きさ等についての基準はない。運営上の問題なので、保育園がそれぞれの状況に応じて対応していく。
会長	保護者会などの機会に、保育園とやり取りをし、保護者の声を伝えるということも必要かと思う。
委員	期間限定保育について、令和4年4月開設の保育園は実施するのか。また、1歳児のみにしている理由はなぜか。 他自治体で一時預かり保育を限定的に始めていると聞いているが、中央区で予定はあるか。
保育課長	期間限定保育については、各新規開設保育園や昨年開設した保育園に打診しているところであり、各園で受入れ体制が整えられるか確認した上で実施していくことになる。また、各園で受入れられる人数が数人であるので、区では待機児童の多い1歳児のみとしている。 一時預かり保育について、こども園や認証保育所などの認可保育園以外や一部の認可保育所でも実施している。他自治体とは異なり、待機児童数の動向が見極められた状況ではないので、今後の状況を踏まえ、実施を検討していく。
(3) 報告事項 事務局から資料3-1、3-2について説明が行われた。	
委員	資料3-1について、2歳児の申込件数が107件も減っているが、原因はなにか。
保育課長	申込件数が減る原因としては、何らかの理由で保育所を利用しなくてもいい状況になったと考えるが、2歳児だけ突出していることは想定外であり、現段階では原因がわからない。
委員（区）	資料について、申込を締め切ったばかりなので、まだ分析をしていない。今後、利用調整を行い、特徴的な動きなどを分析していく。
委員	資料3-1について、保育園に預けず家で孤立し、虐待等の可能性があるのではないか。また、都内で定員割れが生じており、中央区でも運営側が厳しい状況になるのではないか。

委員（区）

今後、分析を行うが、幼保無償化により私立幼稚園に預けやすくなったことも減っている要因であると考え。虐待については、子ども家庭支援センターを中心に健診等のタイミングを捉え、チェックをしている。

中央区において、保育園が運営できないほどの定員割れをしている状況はない。今後も人口が増え、保育園が必要になっていくと認識している。

### 3 閉会